

第3回 学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和7年10月21日(火) 午前10時から正午まで

2 会 場 吉田特別支援学校 会議室

3 参加者

○委員

駿遠学園管理組合園長	藁科 知行 様
浜松学院大学教授	山田 浩昭 様
木村飲料株式会社 常務取締役	木村 祥吾 様
ハイナン農業協同組合 流通販売部長	峯野 利也 様
吉田町片岡区 自治会長	伊吹 雅夫 様
保護者代表	佐塚 由香 様

○アドバイザー

吉田町教育委員会 学校教育課 浅井 健 様

○学校職員

校 長 伊藤 聖子	副校長 松本 比呂美	事務長 土戸 美樹
教 頭 鈴木 淳也	分教室教頭 杉本 友紀乃	小学部主事 和田 加恵子
中学部主事 小野田 朋弘	高等部主事 菅野 圭	肢体訪問統括 安池 郁乃
教務主任 松浦 ゆか	コーディネーター 岡本 広美	情報教育課長 多々良 祐人

4 議事録

(1) 校長挨拶

・本校10周年に向けて、木村飲料様やJA様の協力を得て子どもたちの学習が盛り上がってきている。田んぼにはお米が実っている。今日は後半、グループ協議を計画しているのでたくさんのご意見を頂きたい。

(2) 令和7年度学校運営中間報告：学校経営中間報告書をもとに進捗状況を報告

(本校)3つの柱に沿って進捗状況の報告を行う。授業では、「やりがいと手ごたえのある」授業の実践を目指して学びの課程を大切に、達成感・満足感が実感できるよう日々授業づくりに努めている。教職員の専門性向上に関しては、OJTを取り入れて若手も中堅も学び合うシステムを作った。特に人材育成は今後力を入れていきたい。連携では、吉田町が主催するICTの授業研修に参加させてもらったり吉田町の取り組みを参考にしたりしてICT活用について学びを深め、本校でできそうなことから取り組んでいる。安心では、校内の破損や故障の点検、児童生徒の動きを想像しながら窓枠に踏み台になるものを置かない、死角を無くす、危険物を放置しないなど危機管理を強化していく。緊急時の対応についても常に見直しを行っている。

(分教室)授業では、研修テーマに基づく授業実践を行っている。専門性のシステムづくり、一人一人の専門性を伸ばすよう得意分野を生かした職員研修を行っている。中学部では、キャリアパスポートを用いた振り返りを行っているが、小学部ではキャリアパスポートを使用してはいるが学期終わりだけとなっているため、今後は積極的に活用できるようにしていきたい。連携では、近隣小中学校5校と交流を実施している。安全では、不祥事根絶ケアUP研修を行い、分教室で考えられるケースについて研修を行っている。

本校、分教室共に課題を整理して今後も取り組んでいきたいことを報告した。

(3) 10周年記念行事の紹介と授業参観

- ・記念行事についての報告。(ドローン撮影、スローガン、記念給食など)

各学部学習の取り組みについての報告。

学校全体で10周年(もえぎまつり)に向けて盛り上がっている。

高等部…島田商業高等学校との共同学習による記念品や各作業班で10周年記念の作業製品作り。

中学部…当日使用する名札やホルダー、法被や手ぬぐい作り。

小学部…スローブを使って「10がいっぱい展覧会」、サイダーを入れる紙袋の作成。

肢体・訪問…バースデーソングの作成。学校を花いっぱい飾る活動。

(4) 本校のICT活用の現状と課題について

- ・コミュニティースクールの取り組みと達成方法について提示し、本校の現状と設備環境面について報告した。今後は、BYODを進めていきたいと考えている。WiFi環境については、教室内で利用できるようになっている。

- ・実践例について校務では、COCOOを活用し、保護者への連絡や欠席連絡を行っている。今後、スプレッドシートにより予定を共有していこうと考えている。

- ・本校の課題について①校内のICT活用の「広がり」と「質」。ICTを活用することが目的になっている。ツールとしてではなく、ICT活用自体が先走っている傾向がある。②卒業後のICT活用のイメージが不足している。この2点についてグループ協議。

(5) 協議

A グループ

- ・カバーする使い方として在庫管理、計算、スケジュール管理、検索の活用。記録を残すことで昨年の自分を振り返ることや先輩の作業を引き継ぐことができる。LINE、コミュニケーションツールの活用も可能性がある。

B グループ

- ・教育現場でのICT活用について児童生徒が「やりたい」「たのしい」「便利だ」「使いたい」と思える発想が大事でICTありきではない。子どもが主体であることを常に意識していくことが大事。AIをうまく使って活用していくことも視野に入れるとよい。自分の気持ちを手紙にしたりして相手に伝えることに使ってみてはどうか。

(校長より)

LINEでの業務の報告が企業では一般的というお話を伺い、学校というのはまだまだ社会の事を見れていないと感じた。実社会での活用の仕方に目を向け、授業でどう活用するかと堅く考えずに道具としての活用の視点での導入をというご意見は大きなヒントとなった。実感をもって取り組める活用を進めたい。

